

調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

道政上の重要課題や主要施策に関しての世論調査を実施し、道民の道政に対する意向や意識の的確な把握に努めるとともに、政策形成に反映させることを目的とする。

(2) 調査項目

- 1) 電気料金について
- 2) 道道における道路除排雪について
- 3) 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて
- 4) 男女平等参画について
- 5) 北海道食品機能性表示制度（ヘルシーD o）について
- 6) 農業・農村の振興について

(3) 調査の方法

- | | |
|---------|------------------|
| 1) 調査地域 | 北海道全域 |
| 2) 調査対象 | 道内に居住する満20歳以上の個人 |
| 3) 標本数 | 1,500 サンプル |
| 4) 地点数 | 150 地点 |
| 5) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| 6) 調査方法 | 郵送配付、郵送回収 |
| 7) 調査期間 | 平成27年8月 |

(4) 調査実施機関

昇寿チャート株式会社

(5) 調査回収状況

標本数	1,500
有効回収数（率）	753（50.2%）

2 調査回答者の特性

区分	総数	比率
【総数】	753	100.0%
【圏域別】		
道南圏	61	8.1%
道央圏	446	59.2%
道北圏	81	10.8%
オホーツク圏	44	5.8%
十勝圏	43	5.7%
釧路・根室圏	50	6.6%
無回答	28	3.7%
【人口規模別】		
札幌市	271	36.0%
人口 10 万人以上の都市	191	25.4%
人口 10 万人未満の都市	132	17.5%
町村部	128	17.0%
無回答	31	4.1%
【性別】		
男性	317	42.1%
女性	423	56.2%
無回答	13	1.7%
【年代別】		
20～29 歳	47	6.2%
30～39 歳	145	19.3%
40～49 歳	211	28.0%
50～59 歳	184	24.4%
60～69 歳	143	19.0%
70 歳以上	9	1.2%
無回答	14	1.9%

区分	総数	比率
【職種別】		
自営業（農林漁業）	12	1.6%
自営業（商工サービス業）	43	5.7%
自由業	27	3.6%
事務職系	195	25.9%
労務職系	140	18.6%
主婦	193	25.6%
学生	6	0.8%
無職	63	8.4%
その他	61	8.1%
無回答	13	1.7%
【市町村居住年数別】		
1 年未満	8	1.1%
1～5 年未満	40	5.3%
5～10 年未満	47	6.2%
10～20 年未満	109	14.5%
20 年以上	522	69.3%
無回答	27	3.6%

注) 個々の比率（百分率）は、少数第 2 位を四捨五入した。このため、各区分における比率の合計が 100.0%にならない場合がある。

3 サンプリング

母集団	道内に居住する満20歳以上の個人
標本数	1,500 サンプル
地点数	150 地点
抽出方法	層化二段無作為抽出法

(1) 層化

① 北海道の市町村を、次の6圏域に分類した。

【道南圏】★函館市、北斗市、七飯町、森町、八雲町、せたな町

【道央圏】札幌市★江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、岩見沢市、美唄市、
芦別市、滝川市、砂川市、深川市、長沼町、栗山町、★小樽市、倶知安町、
岩内町、仁木町、★苫小牧市、室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、新ひだか町

【道北圏】★旭川市、士別市、名寄市、富良野市、東川町、上富良野町、留萌市、天塩町
稚内市

【オホーツク圏】★北見市、網走市、紋別市、美幌町、遠軽町、大空町

【十勝圏】★帯広市、音更町、芽室町、幕別町、清水町

【釧路・根室圏】★釧路市、釧路町、根室市、別海町、中標津町

注) ★印は、札幌市を除く人口10万人以上の都市

② 各圏域については、「札幌市」「人口10万人以上の都市」「人口10万人未満の都市」「町村部」と人口規模別に分類した。人口規模は、平成27年3月31日時点での住民基本台帳人口により分類した。

(2) 標本分配

調査対象が北海道内に居住する満20歳以上の個人であるため、平成27年6月2日時点の選挙人名簿登録者数を推定母集団とし、その大きさにより150の地点数を比例分配した。なお、各母集団は、住民基本台帳を抽出原簿として採用した。

(3) 抽出

① 第1次抽出単位となる調査地点（各市町村、条町丁字名別）の抽出

各層に配分した調査の地点数分、調査対象地区を抽出した。抽出に際しては、平成21年10月5日時点の合併市町村の動向を考慮し、「住民基本台帳人口」を基に各地点の住民基本台帳人口の累積度数を算出して、各層の総人口に対する累積占用率を算出し、調査地点数分乱数を発生させて、該当する150地区を抽出した。

② 第2次抽出単位となる調査対象者の抽出

対象者の抽出は、地点ごとに抽出間隔を算出し、住民基本台帳から等間隔に10人抽出し、調査標本1,500を抽出した。なお、抽出に当たっては、満20歳以上の個人であることに留意した。

$$\frac{\text{調査地点推定人口総数}}{10} = \text{抽出間隔}$$

(4) 抽出結果

圏域、人口規模ごとの標本数、調査地点数は次のとおりである。

地域	人口規模	住民基本台帳 人口数 (H27. 3. 31 現在)	選挙人名簿 登載者数 (H27. 6. 2 現在)	標本数	地点数
道南圏	人口 10 万人以上	269,675	230,237	70	7
	人口 10 万人未満	47,763	38,869	10	1
	町村部	134,334	115,124	40	4
道央圏	札幌市	1,934,675	1,619,703	540	54
	人口 10 万人以上	417,227	349,986	120	12
	人口 10 万人未満	697,761	586,493	210	21
	町村部	317,184	268,593	70	7
道北圏	人口 10 万人以上	345,910	291,638	100	10
	人口 10 万人未満	131,541	111,100	50	5
	町村部	151,058	126,927	30	3
オホーツク圏	人口 10 万人以上	121,303	102,132	30	3
	人口 10 万人未満	60,950	51,208	20	2
	町村部	112,497	94,662	30	3
十勝圏	人口 10 万人以上	168,120	139,860	50	5
	町村部	178,802	147,103	40	4
釧路・根室圏	人口 10 万人以上	177,104	149,849	50	5
	人口 10 万人未満	27,823	23,333	10	1
	町村部	114,201	94,077	30	3
合計		5,407,928	4,540,894	1,500	150

4 調査地点一覧

圏域	抽出市町村		抽出地点
道南圏	渡島総合振興局	函館市	青柳町
			上野町
			恵山町
			追分町
			鍛冶1丁目
			桔梗町
			銭亀町
		北斗市	中野通
		七飯町	本町1丁目
	森町	字常盤町	
	八雲町	末広町	
	檜山振興局	せたな町	北檜山区北檜山
道央圏	石狩振興局	札幌市中央区	界川
			宮の森2条8丁目
			北3条西26丁目
			北4条西29丁目
			北14条西15丁目
			南22条西8丁目
		札幌市北区	あいの里3条7丁目
			麻生町6丁目
			北34条西11丁目
			北37条西7丁目
			篠路9条3丁目
			新川3条11丁目
			新琴似10条16丁目
			太平12条4丁目
		札幌市東区	北丘珠2条2丁目
			北18条東20丁目
			北36条東19丁目
			本町1条5丁目
			伏古1条3丁目
			東苗穂12条3丁目
			東雁来10条2丁目
		札幌市白石区	川北1条1丁目
			北郷1条9丁目

圏域	抽出市町村		抽出地点
道 央 圏	石狩振興局	札幌市白石区	中央3条2丁目
			本郷通4丁目北
			菊水元町9条2丁目
			菊水8条2丁目
		札幌市豊平区	西岡4条14丁目
			西岡5条2丁目
			平岸6条9丁目
			美園8条2丁目
			福住1条7丁目
			月寒東2条14丁目
		札幌市南区	石山3条5丁目
			川沿3条4丁目
			澄川2条3丁目
			常盤2条1丁目
		札幌市西区	西野3条4丁目
			二十四軒4条7丁目
			八軒5条西10丁目
			発寒13条4丁目
			平和3条10丁目
			山の手7条7丁目
		札幌市厚別区	青葉町1丁目
			厚別北5条5丁目
			厚別西2条2丁目
			上野幌1条1丁目
		札幌市手稲区	曙1条1丁目
			稲穂1条1丁目
			金山1条1丁目
			富丘2条2丁目
		札幌市清田区	美しが丘5条5丁目
			北野2条2丁目
			清田5条2丁目
		江別市	あけぼの町
大麻晴美町			
野幌住吉町			
千歳市	青葉4丁目		

圏域	抽出市町村	抽出地点	
道央圏	石狩振興局	千歳市	白樺 1 丁目
			清流 1 丁目
		恵庭市	相生町
			幸町 1 丁目
		北広島市	泉町 3 丁目
			東共栄 3 丁目
		石狩市	厚田区厚田
			樽川 8 条
	空知総合振興局	岩見沢市	朝日町
			かえで町 4 丁目
		美唄市	東 2 条南
		芦別市	北 5 条西
		滝川市	江部乙町
		砂川市	空知太東 4 条
		深川市	錦町
		栗山町	松風
	後志総合振興局	小樽市	朝里 3 丁目
			奥沢 5 丁目
			手宮 1 丁目
			蘭島 1 丁目
		俱知安町	北 5 条西 1 丁目
		岩内町	清住
	仁木町	西町 1 丁目	
	胆振総合振興局	苫小牧市	青葉町
			明野元町 1 丁目
			桜木町
			栄町
			新開町 1 丁目
		室蘭市	寿町 1 丁目
			中島本町 1 丁目
			東町 2 丁目
		登別市	千歳町
伊達市	末永町		
豊浦町	字船見町		

圏域	抽出市町村		抽出地点	
道央圏	日高振興局	新ひだか町	静内中野町	
道北圏	上川総合振興局	旭川市	秋月 1 条 1 丁目	
			旭町 2 条 2 丁目	
			神楽岡 1 条 4 丁目	
			神居 3 条 14 丁目	
			未広 3 条 3 丁目	
			台場 2 条 5 丁目	
			忠和 8 条 3 丁目	
			東光 12 条 5 丁目	
			豊岡 5 条 8 丁目	
			永山 12 条 3 丁目	
		士別市	北町	
		名寄市	西 6 条北	
		富良野市	北の峰町	
		東川町	北町 3 丁目	
	上富良野町	旭町		
	留萌振興局	留萌市	潮静	
		天塩町	山手通	
	宗谷総合振興局	稚内市	栄 1 丁目	
オホーツク圏	オホーツク総合振興局	北見市	青葉町	
			寿町 1 丁目	
			幸町	
			網走市	字藻琴
			紋別市	大山町
			美幌町	字青葉
			遠軽町	寿町
	大空町	東藻琴		
十勝圏	十勝総合振興局	帯広市	西 9 条北	
			西 15 条北	
			西 15 条南	
			西 16 条北 1 丁目	
			清流西 1 丁目	
			音更町	すずらん台北町 1 丁目
			芽室町	東 7 条
	幕別町	緑町		

圏域	抽出市町村		抽出地点
十勝圏	十勝総合振興局	清水町	南1条
釧路・根室圏	釧路総合振興局	釧路市	愛国西1丁目
			大楽毛
			音別町朝日
			駒場町
			白樺台
		釧路町	新開
	根室振興局	根室市	昭和町
		別海町	別海寿町
中標津町		東9条北	

5 この報告書の見方

- (1) 回答率（各回答の百分率）は小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 設問説明文にて複数の回答を求めているものには、2つ以上の回答を求めているものと、回答数に制限を設けているものがあり、いずれもその百分率の合計は100.0%を超える場合がある。
- (3) この調査は、標本調査であるため、全数調査の結果（真の値）から一定の範囲内で離れていることがある。これを標本誤差といい、層化二段無作為抽出の場合、信頼度95%のとき次の式で算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 回答者数
 P = 回答比率

上記の式により、回答者数（n）、及び回答比率（P）ごとに信頼度95%の標本誤差を計算すると、おおよそ次のとおりとなる。

回答比率(P) 回答者数(n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
753	±3.09%	±4.12%	±4.72%	±5.05%	±5.15%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数（n）が753で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差は95%の信頼度で、±5.05%以内（54.95～65.05%）である」とみることができる。

- (4) 圏域別（道南、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室）の該当市町村については、別途「4 調査地点一覧」（P5～P9）に記載している。
- (5) 設問ごとの解説は、回答数の多かった上位3項目を【全体】に記載し、このうち上位2項目について、【圏域別】【人口規模別】【性別】【年代別】【職種別】【居住年数別】の種別による状況を記載した。